



# 国家の改革

鳥取ガス株式会社

取締役社長

児嶋祥悟

日本は財政破綻、地方自治は倒産時代に突入した。明治維新から近代国家をめざして一四〇年。その結果無能な政治家、肥大化した官僚と無気力な国民、そして八〇〇兆円の借金が残り、寄生体質の国家に成り下がった。

国は哲学なき市町村合併と交付税の減額による地方の自立を求め、さらに道州制により効率化を推進しようとしている。最後の切り札は消費税の二十割増税しかないというのか。

いまこそ国家の大改革を。大統領制の導入、国民主導による行財政大改革、住民による住民のための行政システムが必要だ。オーストラリアでは選挙投票を棄権すると罰則があるが、国民にも責任と義務がある。国家の改革は国民の意識改革からだ。